



# FeliSafe®/Lite for Windows

Ver.4.3

ユーザーズマニュアル



第18版

# ごあいさつ

---

このたびは、「FeliSafe/Lite」をご利用いただき、誠にありがとうございます。  
本書は、「FeliSafe/Lite」の機能をご利用いただくための内容を記載しております。

なお、本書は、Windows システムの構成や管理に必要な知識と、経験を持つ方を対象とした内容となっております。

また、「FeliSafe/Lite」をお使いになる前に、下記の「ご注意」事項および、「ソフトウェアのご使用条件」を必ずお読みください。

- ◆FeliSafe は、株式会社ユタカ電機製作所の登録商標です。
- ◆Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ◆Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ◆その他記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標です。

## <ご注意>

本書および本ソフトウェアは、株式会社ユタカ電機製作所が著作権を保有しています。  
本書および本ソフトウェアの内容の一部あるいは全部について複製、複製することは禁じられております。

本ソフトウェアは、ユタカ電機製作所の製品専用です。

本書または本製品の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。

本製品の取り扱いにつきましては、本書を良くお読みください。

製品の内容につきましては万全を期しておりますが、万一不可解な点や、誤り、お気づきのことがございましたら、販売店または弊社営業までご連絡くださいますようお願いいたします。

運用した結果の影響については上記事項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 免責事項について

当社製品の使用に起因する事故であっても、装置・接続機器・ソフトウェアの異常、故障に対する損害、その他二次的な損害を含むすべての損害の補償には応じかねます。

# ソフトウェアのご使用条件

## お客様へのお願い

### 本ソフトウェアの媒体 (CD-ROM) の梱包を解かれる前に必ずお読み下さい。

このたびは、本ソフトウェア製品をお求めいただき、まことにありがとうございます。弊社では、本ソフトウェア製品のお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、下記のソフトウェア使用条件を設けさせていただいております。本使用条件を充分にお読みください。本使用条件にご同意いただけない場合には、本製品の梱包を解かれずに本製品を弊社にご返却くだされば、代金をお返しいたします。本製品の梱包を解かれた場合、またはお客様が本製品の使用を開始（インストールを含みます。）された場合には、本使用条件にご同意いただいたものといたします。本使用条件は本ソフトウェア製品の使用許諾についての証明ですので、これを大切に保管して下さい。

株式会社ユタカ電機製作所（以下「弊社」といいます。）は、本使用条件とともにご提供するソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」といいます。）を、日本国内で使用する権利を下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。

#### 1. 期間

- (1) お客様は、1ヶ月以上事前に、弊社宛書面により通知することにより、いつにても本使用条件により許諾される許諾ソフトウェアの使用権を終了させることができます。
- (2) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつにても本書により許諾されるお客様の権利を終了させることができます。
- (3) お客様は、第7条第2項に定める場合を除き、本書により許諾されたお客様の権利の終了後直ちに許諾ソフトウェアおよびそのすべての複製物ならびに本ソフトウェア製品に同梱されたマニュアル等の書面を破棄するものとします。

#### 2. 使用権

- (1) お客様は、許諾ソフトウェアを、以下に定める数のコンピュータにのみ、インストールできます。本使用条件において「インストール」とは、ある特定のコンピュータにおいて許諾ソフトウェアを使用可能な状態にすること（圧縮ファイルの展開、外部記憶装置への実行ファイルの保存、OSのレジストリへの登録等、そのコンピュータから許諾ソフトウェアを実行できるようにすること）をいいます。

許諾台数: 1台

- (2) お客様は、前項に基づき許諾ソフトウェアをインストールしたコンピュータにおいてのみ、許諾ソフトウェアを使用することができます。

#### 3. 許諾ソフトウェアの複製、改変および結合

- (1) お客様は、第2条第1項で許された許諾ソフトウェアの減失、毀損等に備える目的でのみ許諾ソフトウェアを1部複製することができます。
- (2) お客様は、許諾ソフトウェアのすべての複製物に、許諾ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付すものとします。
- (3) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き、許諾ソフトウェアの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。
- (4) お客様は、いかなる場合であっても許諾ソフトウェアとともに提供されたマニュアル等の関連資料を複製することはできません。
- (5) 本使用条件は、許諾ソフトウェアに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

#### 4. 許諾ソフトウェアの移転等

お客様は、許諾ソフトウェアまたはその使用権の第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転、またはその他の処分をすることはできません。

#### 5. 逆コンパイル等

お客様は、許諾ソフトウェアをリバース・エンジニア、逆コンパイルまたは逆アSEMBルすることはできません。

#### 6. 保証の制限

- (1) 弊社は、許諾ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。許諾ソフトウェアに関し発生する問題はお客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- (2) 許諾ソフトウェアの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾ソフトウェアの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾ソフトウェアをお受け取りになった日から14日以内に、かかる日付を記した領収書（またはその写し）を添えて、弊社に許諾ソフトウェアを返却されたときには、弊社は当該記録媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）、これをもって記録媒体に関する弊社の唯一の保証とします。

#### 7. 責任の制限

弊社の責任およびお客様の救済手段は、次の各項に定めたとおりとします。

- (1) 弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。お客様の目的に許諾ソフトウェアが合致しているか否か、またその使用および使用の結果につきましても、弊社は責任を負いません。また、弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任は、その法律上の構成の如何を問わず、お客様が実際にお支払いになった本ソフトウェア製品の代金相当額を以てその上限とします。
- (2) もし弊社が物理的欠陥のある記録媒体を前条第2項の規定に基づき交換できない場合は、お客様は本使用条件により許諾された使用権を終了させることができるものとします。弊社は、かかる場合における弊社の唯一の責任として、本ソフトウェア製品と引き換えに、お客様が実際にお支払いになった本ソフトウェア製品の代金をお客様に返還するものとします。

#### 8. その他

- (1) お客様は、いかなる方法によっても本ソフトウェア製品およびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
- (2) 本使用条件にかかわる紛争は、東京地方裁判所を専属的管轄裁判所として解決するものとします。

# 目次

ごあいさつ .....	I
ソフトウェアのご使用条件 .....	II
<b>第1章 はじめに .....</b>	<b>1</b>
はじめに .....	1
1-1. FeliSafe/Lite for Windows の機能概要 .....	1
1-2. FeliSafe/Lite for Windows のプログラム .....	1
1-3. FeliSafe/Lite for Windows の使用上に注意 .....	2
<b>第2章ソフトウェアのインストールとスタート .....</b>	<b>3</b>
2-1. 動作環境 .....	3
2-2. ハードウェアの準備 .....	4
2-3. インストール .....	5
2-4. プログラムの起動（UPS 監視とモニター） .....	7
2-4-1. UPS 監視プログラムの起動方法 .....	7
2-4-2. 状態表示モニター・プログラムの起動方法 .....	8
2-5. インストール後の動作確認 .....	9
2-5-1. 動作の確認方法 .....	9
2-5-2. 表示に変化が無い場合の確認 .....	10
2-6. アンインストール（プログラムの削除） .....	11
<b>第3章 機能の説明 .....</b>	<b>12</b>
3-1. 停電発生時のシャットダウン動作 .....	12
3-2. 停電運転（バッテリー運転）に移行する条件 .....	12
3-3. FeliSafe モニター画面の説明 .....	13
3-4. 「操作」メニュー .....	15
3-5. 「設定」メニュー .....	16
3-5-1. 「プロパティ」メニュー .....	16
3-5-2. 「イベント設定」メニュー .....	18
3-6. 「記録」メニュー .....	22
3-7. 「ヘルプ」メニュー .....	22
3-7-1. 「FeliSafe/Lite ヘルプ」メニュー .....	22
3-7-2. 「FeliSafe/Lite について」メニュー .....	22

# 第1章 はじめに

---

## はじめに

FeliSafe/Lite for Windows をお使いいただく前に UPS（無停電電源装置）の取扱説明書をお読みいただき、UPS の使用方法をご理解ください。

マニュアルに記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

### 留意事項

いかなる場合においても、この製品(FeliSafe/Lite for Windows)の使用や使用中の問題から生ずる、いかなる損害（事業利益の損失、情報の損失、事業の中断や停止、その他の金銭的、物理的損害を含むもの、及びその他の各損害）に関して、一切の責任を負わないものとします。

## 1-1. FeliSafe/Lite for Windows の機能概要

FeliSafe/Lite for Windows は UPS の状態を監視し、電源異常の発生時に、パソコン (Windows) のシャットダウンを自動的に行ない、UPS も停止します。その後、電源異常が回復する事で UPS は自動的に起動し、パソコンへ電源供給を開始します。（UPS の電源供給開始により、パソコンを自動起動させる場合は、パソコンの BIOS 設定の変更が必要になる場合があります。）

また、UPS の動作状況に応じた動作の記録やコマンドの実行、ネットワークへのメッセージの送付などを行うことが可能です。

※UPS の自動停止はタイミングにより実行できない場合がございます。詳しくは使用上の注意をご確認ください。

※UPS は、停電などの電源異常の発生時に負荷装置（パソコン等）への電源供給を継続します。しかし、その電源供給には限界があります。FeliSafe/Lite には、この電源供給時間を考慮し待機時間の設定を行ってください。

## 1-2. FeliSafe/Lite for Windows のプログラム

FeliSafe/Lite for Windows は UPS 監視プログラムとモニタプログラムの2つのプログラムで構成されています。

### ※注意

UPSmini500 II BU ではご使用になれません。

### ◆監視プログラム

監視プログラムはパソコンの起動により自動起動します。監視プログラムはバックグラウンド（見えない状態）で動作し、UPS の監視や電源異常発生時のパソコンの停止等、すべての機能を有しています。UPS の監視は添付の専用通信ケーブルで行ないます。

### ◆モニタ・プログラム

モニタプログラムはユーザーと監視プログラムとの間の連絡を行い、UPS の状態簡易表示や動作記録の表示、各種動作設定を行ないます。（モニタプログラムは常時起動している必要はありません。）

## 1-3. FeliSafe/Lite for Windows の使用上に注意

FeliSafe/Lite for Windows は、UPS の状態監視および停止制御の為に、UPS と通信を行いません。ただし、下記の注意があります。

※通信方法は、SIGNAL（接点）通信方式を利用しております。

### ■SIGNAL（接点）通信方式とは

弊社の UPS では、開閉リレー回路を使用し、回路が OPEN の時に「OFF」信号、回路が CLOSE の時に「ON」信号となり、この「ON」「OFF」信号で判断し機能します。

### <注意 1>

#### ◆現象

FeliSafe/Lite により、停電などの電源異常発生時のシステム・シャットダウンを行なったが UPS が電力供給を停止しない。

#### ◆原因

FeliSafe/Lite が Windows をシャットダウンする時に、UPS へ停止信号を送信しますが、UPS 側で停止信号を受信する時に、停電などの電源異常が回復し UPS が通常運転に復帰している場合は、UPS 側では停止信号を受け付けません。

#### ◆説明

UPS が停止信号を受信する条件は、UPS がバッテリー運転中に停止信号を受信することです。この条件を満たさないと UPS は停止しません。UPS が誤った信号（ノイズなど）により停止動作させない為に、バッテリー運転中に限る条件を設けております。

※UPS にて停止信号を受信する条件は、UPS のシリーズにより異なる場合があります。

詳しくは、UPS の説明書の「シャットダウン信号」をご確認ください。（例：UPS-SP シリーズは電源異常の回復後、5 分間は停止信号を受信します。）

### <注意 2>

#### ◆現象

FeliSafe/Lite により、停電などの電源異常発生時のシステム・シャットダウンを開始したが、システムがシャットダウンを完了する前に UPS が停止してしまう。

#### ◆原因

UPS が停止信号を受信後、停止するまでの時間が「60 秒」固定になっています。

#### ◆説明

システム・シャットダウンに 60 秒以上かかる場合は、本現象が発生します。

# 第2章ソフトウェアのインストールとスタート

---

## 2-1. 動作環境

■ FeliSafe/Lite for Windows Ver.4.3 の動作は、以下の環境で動作します。

◆ OS（日本語システム、英語システム）

- Microsoft Windows XP Professional / Home
- Microsoft Windows Vista / 7 / 8、8.1 / 10（機能制限あり：(\*1) (\*2) (\*3)）
- Microsoft Windows Server 2003（R2）
- Microsoft Windows Server 2008（R2） / 2012（R2）（機能制限あり：(\*1) (\*2) (\*3)）

※ 組み込み OS（Windows Embedded 等）はサポートしておりません。

### ※機能制限事項

(\*1)：メッセージ通知機能が使用できません。

制限機能：設定メニュー／イベント設定の中の「メッセージ」

システムに「Messenger」機能が無い為、メッセージ通知が機能しません。

(\*2)：イベントコマンド機能に対話型プログラムを指定できません。

制限機能：設定メニュー／イベント設定の中の「プログラム」

対話型のプログラム（notepad.exe 等）を指定しますと、システムより実行確認の為のメッセージが表示されプログラムは実行されません。

(\*3)：FeliSafe モニターの使用に制限があります。

制限機能：FeliSafe モニターの表示

FeliSafe モニターを表示できるのは、インストール実行ユーザのみとなります。  
また、管理者として実行する必要があります。

### ◆必要機能

シリアル通信ポート（RS232C、D-Sub9 ピン）

※USB ではご使用になれません。

※USB-RS232C 変換でのご使用は誤動作する場合や通信できない場合があります。

USB-RS232C 変換はご使用にならないでください。

### ◆CPU

上記 OS が動作可能な Intel 製プロセッサ

### ◆UPS

ユタカ電機製作所製 UPS（SIGNAL 通信ポートを使用します。）

※ユタカ電機製作所製品以外の UPS での動作は保証できません。

※UPSmini500 II BU ではご使用になれません。

## **2-2. ハードウェアの準備**

### **2-2-1. UPS の設置**

UPS の説明書をご確認いただき、UPS を設置してください。

### **2-2-2. 通信ケーブルを接続します。**

本製品に添付されております、専用の通信ケーブルを、UPS の通信ポート（SIGNAL（接点））とパソコンのシリアルポート（COM）へ接続してください。

通信ケーブルは、不用意に外れないように、必ずネジ止めしてください。

接続したパソコンの通信ポート番号は、ソフトウェアのインストール時に設定いたします。

通信ポート番号を確認しておいてください。

※本ソフトをご使用の間は、通信ケーブルを外さないでください。システムのシャットダウンや誤動作を起こす可能性があります。

### **2-2-3. UPS へ装置の電源を接続**

パソコンの電源コードを、UPS の出力コンセント(UPS OUTPUT)へ接続してください。

その他にも、停電発生時に、パソコンの継続運転に必要な周辺装置がある場合は、それらの装置も、UPS へ接続してください。

但し、UPS の電源容量を考慮した接続をしてください。

UPS の出力コンセントが足りない場合は、市販の OA タップ等をご用意ください。



## 2-3. インストール

### 2-3-1. インストール前の注意事項

OS 標準「無停電電源(UPS)」及び「電源オプション(UPS)」について

FeliSafe をご使用になる場合は、OS の「コントロールパネル」内の「無停電電源（電源オプション）」は、ご使用にならないでください。FeliSafe は正常に動作いたしません。

※システムに「無停電電源（電源オプション）」が存在しない場合は問題ありません。

### 2-3-2. インストールプログラムの実行

#### ① インストール前の確認

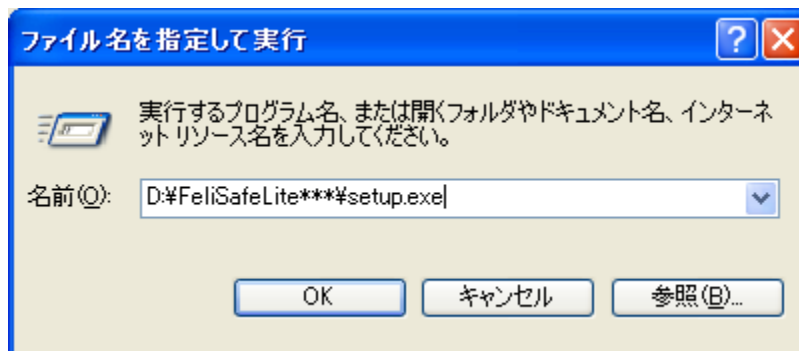
インストールを実行される前に、これから FeliSafe が使用するパソコンの通信ポートを、既に別の用途（ソフトウェアなど）で使用されている場合は、その使用（ソフトウェアなど）をお止めいただくか、別の通信ポートをご使用ください。

#### ② インストールの実行権限

インストールの実行は、Administrator 権限を持ったユーザアカウントでログインし、インストールを実行してください。

#### ③ インストールの開始

付属の CD-ROM をパソコンにセットし、インストール・プログラムの起動は、「ファイル名を指定して実行」または、エクスプローラにて、CD-ROM の「¥FeliSafeLite\*\*\*¥setup.exe」を実行してください。



※上記の例はインストールディスクをセットしたドライブが“D”ドライブの場合です。

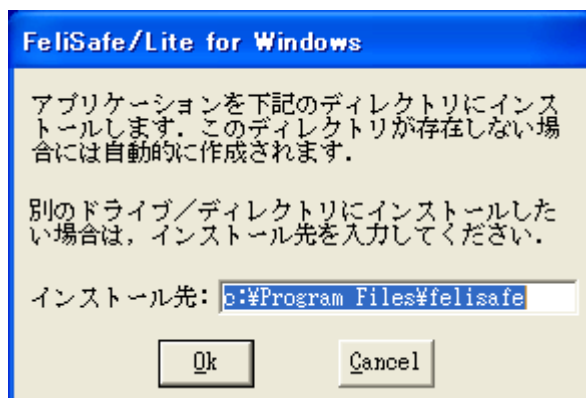
お使いのシステムにあったドライブに変更してください。

※「Windows Vista」以降の OS では、インストール・プログラムを起動した際に、警告メッセージが表示されますが、「実行」や「許可」を選択し進めてください。

※「Windows Vista」以降の OS の場合、FeliSafe モニターのご使用はインストールユーザのみとなります。

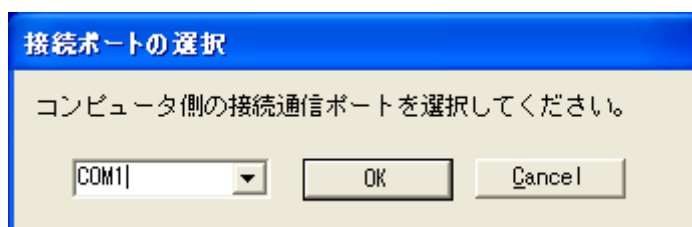
#### ④ インストール場所の指定

SETUP.EXE を起動しますとインストールディレクトリ（フォルダ）の確認画面を表示します。



#### ⑤ 接続ポートの指定

「接続ポートの選択」画面が表示されましたら UPS を接続しているポートを選択してください。



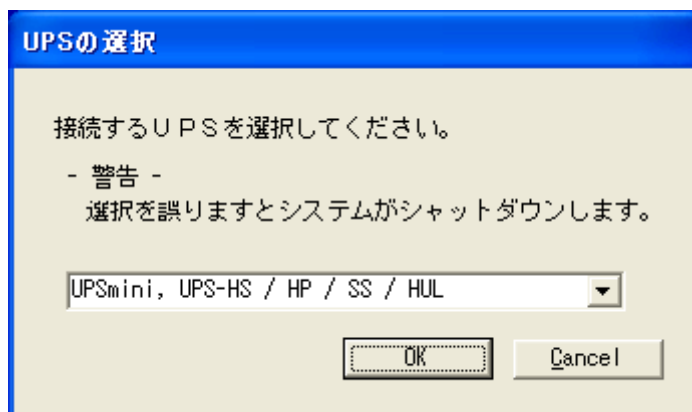
#### ⑥ UPS の選択

FeliSafe/Lite と接続する UPS を選択してください。

※UPS の選択を誤りますと、システムがシャットダウンを繰り返します。

※また、UPS が接続されていない場合は、インストールを中止してください。

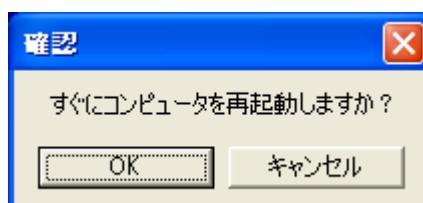
※もし、シャットダウンを繰り返す状態になった場合は、システムをセーフモードにて起動し FeliSafe/Lite をアンインストールしてください。



#### ⑦ パソコンの再起動

インストールが終了すると再起動を求められますのでパソコンを再起動してください。

再起動を行うことにより FeliSafe/Lite for Windows が動作を開始します。



## 2-4. プログラムの起動（UPS 監視とモニター）

### 2-4-1. UPS 監視プログラムの起動方法

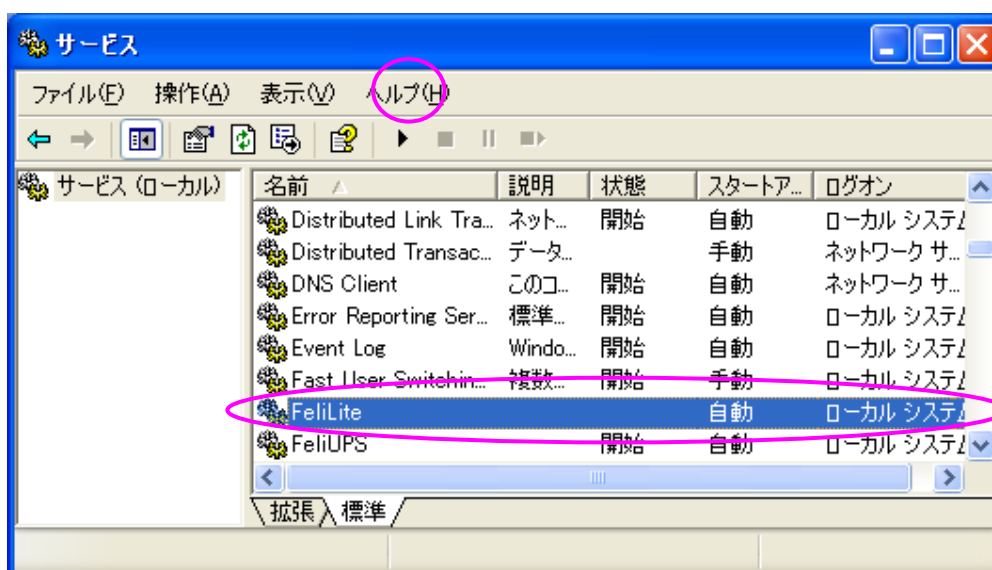
- FeliSafe®/Lite for Windows の「UPS 監視プログラム」は、サービス・プログラムとしてシステムが起動する際に自動起動します。
- システムへログオンする前の状態でも、UPS 監視プログラムは実行しています。

注) インストール作業後に OS の再起動を行わない場合、“FeliSafe®/Lite for Windows” のサービス・プログラム (FeliLite) は実行されていません。この場合、後ほどシステムの再起動を行うか、システムの「サービス」マネージャを利用し、“FeliLite” サービスを「開始」してください。

#### ◆システムの「サービス」マネージャの起動

「コントロールパネル」(クラシック表示) / 「管理ツール」 / 「サービス」を起動します。

※または、「コントロールパネル」 / 「システムとセキュリティ」 / 「管理ツール」の「サービス」を起動してください。



## 2-4-2. 状態表示モニター・プログラムの起動方法

- ①モニタープログラムは、システムへログインしますと、タスクトレイにアイコン状態で自動起動します。（「Windows Vista」以降のOSでは、自動起動しません。）
- ②タスクトレイに「FeliSafe アイコン」が存在しない場合は、Windowsの「スタート」メニューから「プログラム」メニューまたは、「すべてのプログラム」メニューより、「FeliSafe\_Lite for Windows」を選択し起動してください。この操作によりFeliSafe アイコンがタスクトレイに入ります。
- ③「FeliSafe アイコン」からモニター画面を表示させるには、アイコン上にてマウスのダブルクリックを行うか、または、マウスをワンクリックにてメニューを表示し、「元のサイズに戻す」を選択してください。

※ FeliSafe モニターを一度閉じますと、タスクトレイからアイコンも消えてしまいます。

再度モニター表示させる場合は、Windowsの「スタート」メニューから起動してください。

※ FeliSafe モニター・プログラムの操作については、「[第3章 機能の説明](#)」をご確認ください。



### ※ 「Windows Vista」以降のOSでのFeliSafeモニターのご使用について

- FeliSafe モニターをご使用いただくには、インストールを実行されたユーザアカウントにてシステムにログインしてください。
- Windows Vista 以降のOSでは、システム起動時にFeliSafe モニターは自動起動しません。
- FeliSafe モニターを使用する場合は、「スタート」メニューから起動してください。
- FeliSafe モニターを起動する時に、FeliSafe モニター起動メニューにて、管理者として実行してください。

管理者として実行するには、FeliSafe モニターを起動するメニューの「FeliSafe\_Lite for Windows」にて、右クリックメニューを表示し、「管理者として実行」を選択していただくか、「プロパティ」の「互換性」の設定にて、「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを入れて実行してください。

## 2-5. インストール後の動作確認

「FeliSafe/Lite」のインストールが終了しましたら、FeliSafe/Lite の動作確認をしてください。

### 2-5-1. 動作の確認方法

①FeliSafe モニターの起動

タスクトレイより FeliSafe モニターを起動してください。

※FeliSafe の起動方法が不明な場合は、2-4 章「プログラムの起動」をご参照ください。

②擬似停電の発生

UPS 本体の電源コンセントを抜き擬似停電を発生させてください。

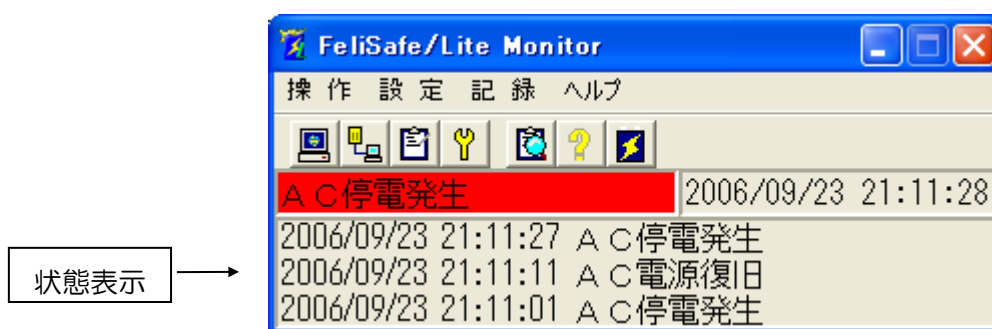
③FeliSafe モニターの確認

FeliSafe モニターの表示が“AC 停電発生”に変われば正常に動作しております。

正常に動作していない場合は、2-5-2 章「表示に変化が無い場合の確認」をご参照ください。

④擬似停電の回復

UPS 本体の電源コンセントを挿し込み擬似停電を回復させてください。



#### ※注意

FeliSafe/Lite をご使用になる前に、パソコンのシャットダウン時間を計測してください。

FeliSafe/Lite によりパソコンの自動シャットダウンを開始した場合、UPSはその後「60秒」で停止します。

#### <シャットダウン時間の計測方法>

パソコンのシャットダウン時間が不明な場合は、一度、FeliSafe/Lite によるパソコンのシャットダウン動作をご確認ください。

a. UPS の「電源スイッチ」

UPS の電源スイッチは「ON」のままにしてください。

b. パソコンのシャットダウン

パソコンのシャットダウン（Windows の「スタート」から）を実行してください。

c. パソコンの電源ケーブル

パソコンの電源ケーブルをUPSから外し、壁のコンセントへ差し込んでください。

d. パソコンの起動

パソコンの電源スイッチを「ON」してパソコンを起動してください。

e. 動作確認

上記の2-5-1 章「動作の確認方法」の「①」～「③」を実行し、FeliSafe/Lite によるパソコンのシャットダウンを行ないます。パソコンがシャットダウンするまでお待ちください。UP

Sが停止する前にパソコンのシャットダウンが完了すれば、そのまま FeliSafe/Lite をご利用ください。

もし、UPSが停止してもパソコンのシャットダウンが継続している場合は、FeliSafe/Lite のご利用はおやめください。FeliSafe/Lite をアンインストールしてください。

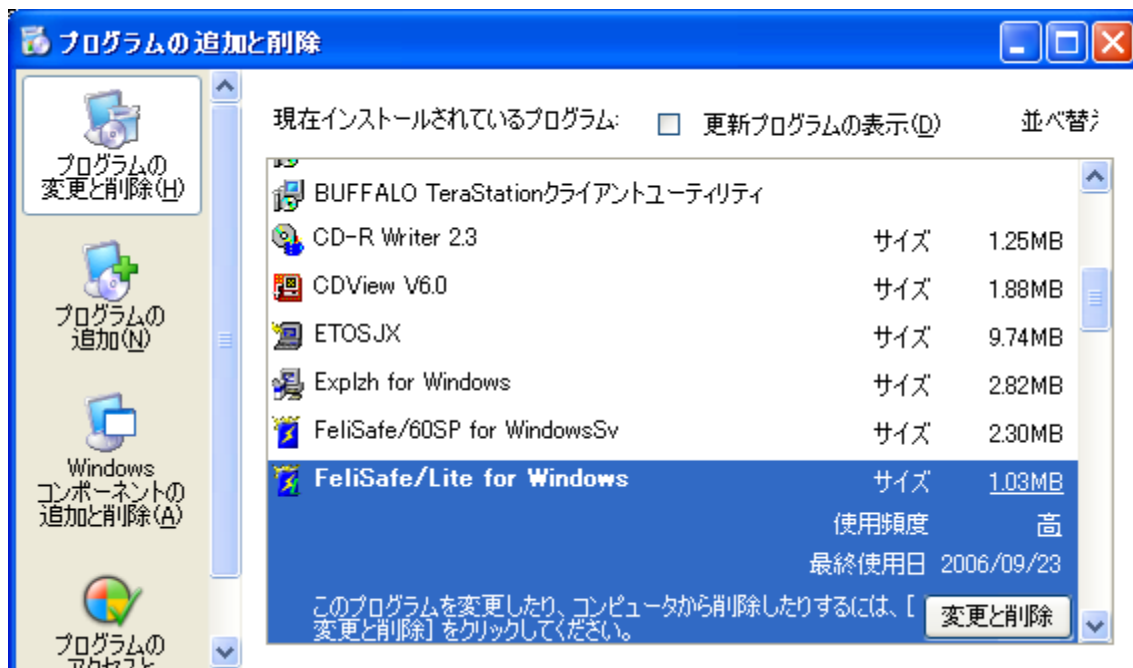
## 2-5-2. 表示に変化が無い場合の確認

- ① FeliSafe モニター・プログラムを、現在起動されている物の他に、再度「スタート」メニューから起動し、ご確認ください。FeliSafe モニターの起動方法は、2-4 章「プログラムの起動」をご参照ください。
- ② UPS 監視プログラムが起動しているか、ご確認ください。確認方法は、2-4 章「プログラムの起動」をご参照ください。
- ③ FeliSafe モニターの「設定」メニューから「プロパティ」を表示し、「UPS」タブの中の「UPS 続ポート」と、パソコンに通信ケーブルが接続されている通信ポートが異なっていないかご確認ください。
- ④ パソコンに現在接続している通信ポートの他に通信ポートが存在する場合、他の通信ポートに変更してご確認ください。この場合、FeliSafe モニターの「設定」メニューから「プロパティ」を表示し、「UPS」タブの中の「UPS 接続ポート」も変更してください。
- ⑤ パソコンとUPSを接続している通信ケーブルが、FeliSafe/Lite 専用の添付ケーブルを使用しているかご確認ください。
- ⑥ FeliSafe/Lite 以外のソフトが、パソコンの通信ポートを使用していないかご確認ください。（モデム・ソフトやシステム標準の「UPS サービス」（電源オプション内）など。）

## 2-6. アンインストール（プログラムの削除）

FeliSafe/Lite は、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」より、「FeliSafe/Lite for Windows」を選択し、「変更と削除」を実行してください。

削除終了後は、パソコンの再起動が必要です。



※FeliSafe/Lite を使用しない場合や、使用を中断する場合。または、UPS を外された場合はプログラムの削除を実行してください。

※「Windows Vista」以降の OS では、削除プログラムを起動した際に、警告メッセージが表示されますが、「実行」や「許可」を選択し、進めてください。

## 第3章 機能の説明

FeliSafe/Lite はUPSの状態を監視し、停電など電源異常の発生時に、パソコン（Windows）のシャットダウンを自動的に開始します。

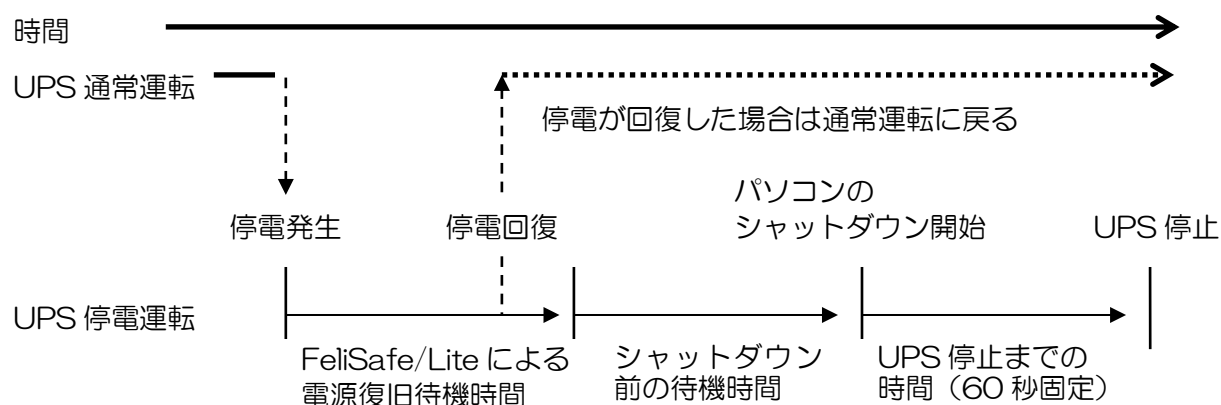
UPSもパソコン（Windows）のシャットダウン開始してから60秒後に停止します。

その後、電源異常が回復するとUPSは自動的に起動し、パソコンへ電源供給を開始します。

※UPSの電源供給開始により、パソコンを自動起動させる場合は、パソコンのBIOS設定の変更が必要になる場合があります。

### 3-1. 停電発生時のシャットダウン動作

停電などの電源異常が発生した場合、UPSは停電運転に移行し、FeliSafe/Liteは以下のような順序でパソコンのシャットダウンを行ないます。



(用語解説)	復旧待機時間	停電などの電源異常発生から電源が復旧するのを待つ時間
	シャットダウン前の待機時間	シャットダウン開始前に処理が必要な場合の待機時間
	UPS 停止までの時間	シャットダウン開始から UPS 停止までの時間 (60 秒固定)

#### ※注意

パソコンのシャットダウン開始からUPSが停止するまでの時間は「60」秒です。

この時間は変更できません。

### 3-2. 停電運転（バッテリー運転）に移行する条件

UPSは完全な停電だけでなく、UPSへの入力商用電源電圧が85V（例）未満または115V（例）を超える場合も、停電運転とシャットダウン動作を行います。

※入力商用電源電圧の範囲はUPSにより異なります。UPSの取扱説明書をご参照ください。



## 3-3. FeliSafe モニター画面の説明

### ◆タスクトレイ・アイコン

起動時点でモニタプログラムはタスクトレイアイコン状態で起動されます。

モニタプログラムアイコン



モニタプログラムアイコン上でマウスクリックを行うことでメニューが表示されます。

メイン画面を表示する場合は、そのメニューの「元のサイズに戻す」を選択するかアイコン上でマウスのダブルクリックを行うことでメイン画面の表示が行えます。

### ◆メイン画面（モニタプログラム）の構成



### ◆メニュー

以下のメニュー項目があります。

#### 操作

シャットダウン取消

#### 設定

プロパティ

イベント設定

#### 記録

記録確認

#### ヘルプ

FeliSafe/Lite ヘルプ

FeliSafe/Lite について

※管理者権限のないユーザーアカウントでは一部のメニューが無効になります。

## ◆ツールバー

ツールバー上のボタンを押すことにより、下記に示した操作を行います。



シャットダウン待機時間設定



UPS 接続設定



イベント記録設定



イベント設定



イベント記録表示



FeliSafe/Lite ヘルプ



FeliSafe/Lite について

※管理者権限のないユーザーアカウントでは一部のボタンが無効になります。

## ◆状態表示

UPS の動作状態を表示します。

動作状態には以下の項目があります。

項目	機能
FeliLite 動作開始	UPS 監視プログラムの動作開始です。
AC通電中	正常運転状態です。
AC停電発生	停電などの電源異常が発生した場合です。
AC電源復旧	電源が復旧しました。
シャットダウン待機	シャットダウンの待機中です。
シャットダウン開始	シャットダウンを開始しました。
シャットダウン取消し	シャットダウンが取り消されました。
UPS 接続失敗	パソコンの通信ポートから応答が無い場合。(通信ポートの故障時または、サスペンド、ハイバネーションを実行時などに記録されます。)
バッテリー容量低下	UPS のバッテリー容量が低下しました。 このイベントが発生した場合は直ちにシャットダウン待機時間が開始されます。

## ◆時刻表示

現在の時刻(日時)を表示します。

## ◆最新イベント表示

最近発生したイベントを3件まで表示します。

プロパティ設定、イベント設定のイベント記録の有無に関係なく全てのイベントが表示されます。

## 3-4. 「操作」メニュー

### 3-4-1. 「シャットダウン取消」

操作メニューのシャットダウン取消を選択することで、FeliSafe/Lite によるパソコンのシャットダウン開始を取り消すことができます。「シャットダウン取消」を実行できるのは、「シャットダウン待機時間」（「設定」メニュー/「プロパティ」/「待機時間（シャットダウン待機時間）」の間になります。

## 3-5. 「設定」メニュー

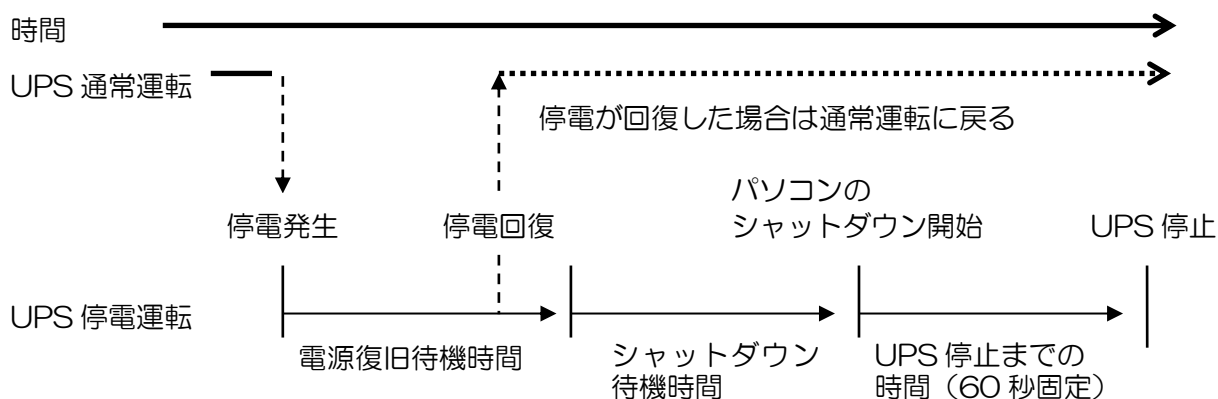
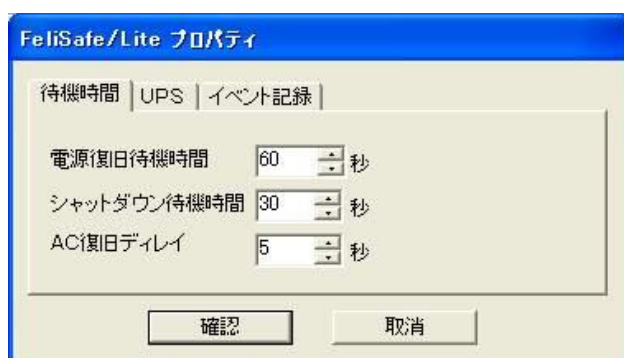
### 3-5-1. 「プロパティ」メニュー

「設定」メニューの「プロパティ」メニューを選択しますと、FeliSafe/Lite が機能するための基本設定を行なうことができます。

#### 3-5-1 (1). 「待機時間」メニュー

「プロパティ」メニューの「待機時間」タブを選択するか、メイン画面上の  アイコンをクリックしますと、停電などの電源異常が発生した時に、FeliSafe/Lite がパソコンのシャットダウンを開始するまでの待機時間を設定できます。


各設定値は、「電源復旧待機時間」+「シャットダウン待機時間」+60秒固定（シャットダウン開始からUPSが停止するまでの時間）が、UPSのバッテリー運転時間を超えないように注意してください。

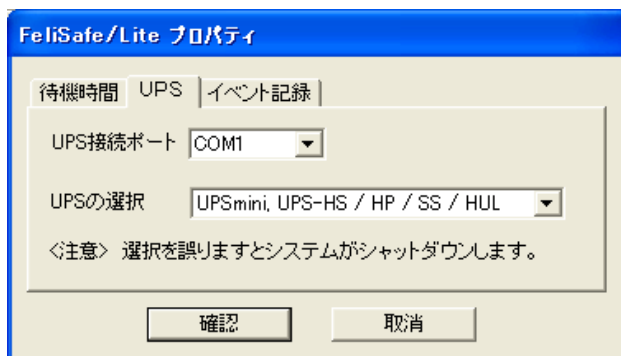


項目	機能
電源復旧待機時間	停電などの電源異常が発生してから電源が復旧するのを待つ時間となります。この待機時間内に電源異常が回復した場合は、パソコンのシャットダウンは行ないません。（初期値：60秒）
シャットダウン待機時間	シャットダウン開始前に処理が必要な場合はこの待機時間を利用してください。自動的にお客様が用意されたプログラムなどを実行される場合は、3-5-2 (2) 章「プログラム」をご参照ください。この待機時間が不要な場合は、最低時間の1秒を設定してください。この待機時間内で電源異常が回復してもパソコンのシャットダウンは開始します。（初期値：30秒）
AC復旧ディレイ	FeliSafe モニタの状態表示を変化（AC 停電発生 → AC 通電中）させるまでの時間です。（初期値：5秒）

- (注) パソコンのシャットダウン開始後、UPSは60秒で停止します。この時間は変更できません。  
パソコンのシャットダウン時間が不明な場合は、2-5-1章「動作の確認方法」をご参照ください。
- (注) UPSのバッテリー運転時間はUPSにより異なります。UPSの取扱説明書をご確認の上設定してください。

### 3-5-1 (2) . 「UPS」メニュー


「プロパティ」メニューの「UPS」タブを選択するか、メイン画面上の  アイコンをクリックすることで、UPSの通信ポートやUPSの種類を設定することができます。

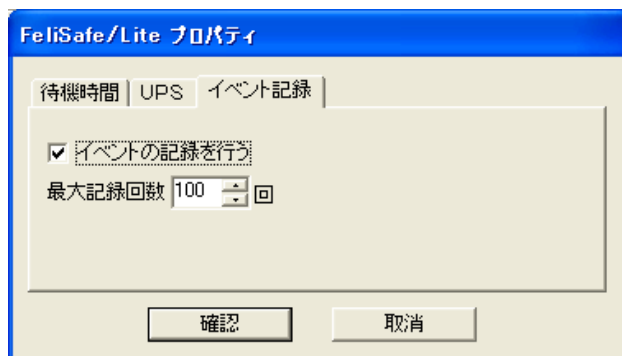


#### ※注意

「UPSの選択」を誤りますとパソコンがシャットダウンを繰り返します。  
もし、シャットダウンを繰り返す状態になった場合は、システムをセーフモードにて起動しFeliSafe/Liteをアンインストールしてください。

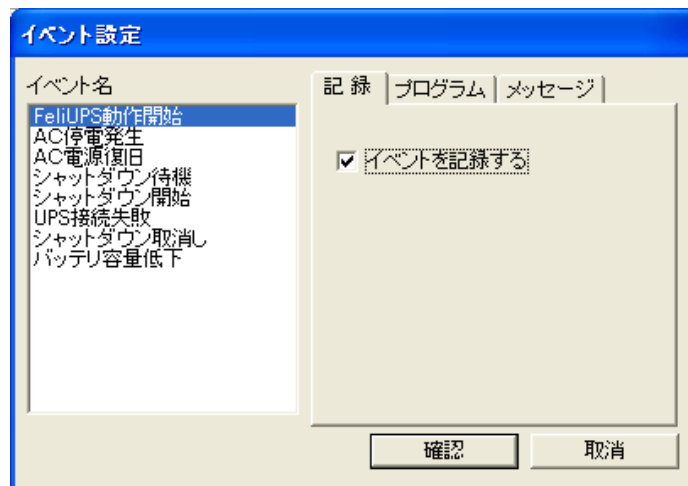
### 3-5-1 (3) . 「イベント記録」メニュー

「プロパティ」メニューの「イベント記録」タブを選択するか、メイン画面上の  アイコンをクリックすることで、FeliSafe/Liteのイベント記録処理を設定することができます。  
イベントを記録する場合は「イベントの記録を行う」をチェックし最大何回の記録を残すか回数を指定してください（各イベントごとの記録設定は「イベント設定」メニューにて行なえます）。



### 3-5-2. 「イベント設定」メニュー

「設定」メニューの「イベント設定」メニューを選択しますと、FeliSafe/Lite が対応する各イベントが発生した時の処理を設定することができます。




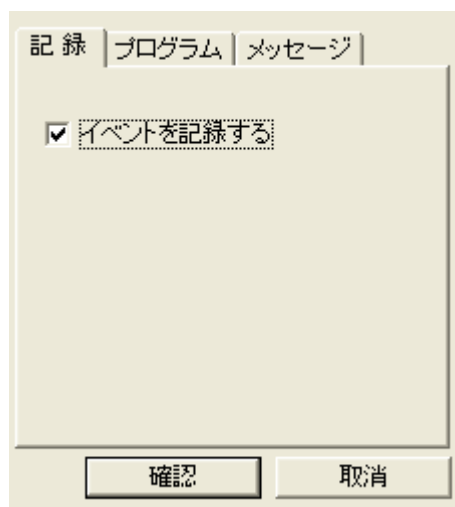
#### ◆ イベントの種類

設定可能なイベントは以下です。

項目	機能
FeliLite 動作開始	UPS 監視プログラムの動作開始です。
AC停電発生	停電が発生しました。
AC電源復旧	電源が復旧しました。
シャットダウン待機	シャットダウン前の待機に入りました。
シャットダウン開始	シャットダウンを開始しました。
シャットダウン取消し	シャットダウンが取り消されました。
UPS 接続失敗	パソコンの通信ポートから応答が無い場合。(通信ポートの故障時または、サスペンド、ハイバネーションを実行時などに記録されます。)
バッテリー容量低下	UPS のバッテリー残量が低下しました。 このイベントが発生した場合は直ちにシャットダウン待機時間に入ります。

### 3-5-2 (1) . 「記録」メニュー

「イベント設定」メニューの「記録」タブを選択するか、メイン画面上の  アイコンをクリックすることで、FeliSafe/Lite が対応する各イベントごとの記録設定を行なうことができます。イベントを記録する場合は、対象のイベントを選択し「イベントを記録する」にチェックをいれてください。



### 3-5-2 (2) . 「プログラム」メニュー

FeliSafe/Lite が対応する各イベントが発生した時に、お客様の「プログラム」などを実行することができます。「プログラム」などを実行する場合は、対象のイベントを選択し、「コマンドを実行する」にチェックを入れプログラムを指定してください。



※ 「Windows Vista」以降の OS では、

イベントコマンド機能に対話型プログラムを指定できません。

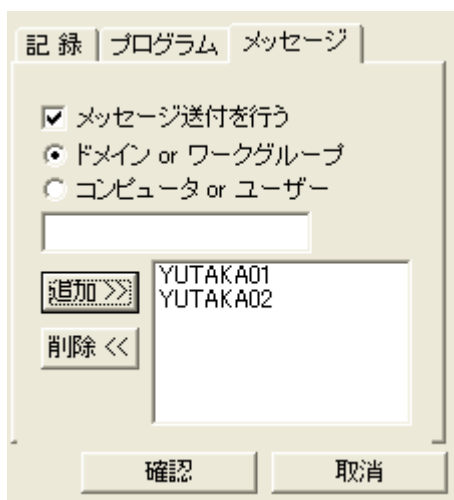
Windows Vista 以降の OS では、対話型のプログラム（notepad.exe 等）を指定しますと、システムより実行確認の為のメッセージが表示され、プログラムは実行されません。

### 3-5-2 (3) . 「メッセージ」メニュー

FeliSafe/Lite が対応する各イベントが発生した時に、メッセージを送付することが可能です。

メッセージを発行する場合は、対象のイベントを選択し、「メッセージ送付を行う」にチェックを入れてください。

※ 「Windows Vista」以降の OS では機能しません。

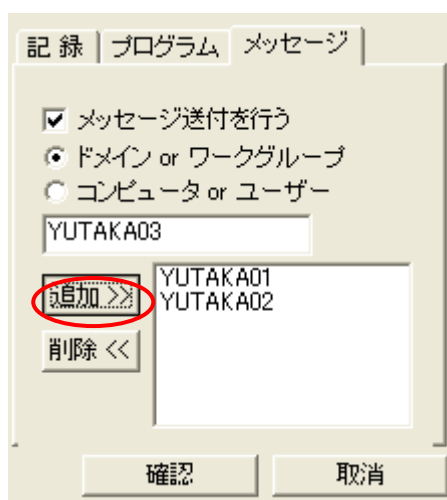


メッセージの送付先を「ドメイン or ワークグループ」または「コンピュータ or ユーザー」より選択してください。

項目	機能
ドメイン or ワークグループ	ネットワーク内にメッセージを「全送信」します。
コンピュータ or ユーザー	ネットワーク内にメッセージを「個別送信」します。

#### ◆送信先の追加

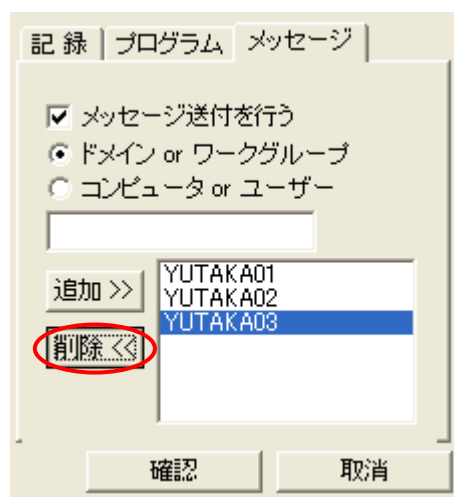
送付先を入力し「追加>>」ボタンにて送付対象に追加します。





#### ◆送信先の削除

送付対象より削除する送付先を選択し「削除<<」ボタンにて削除します。

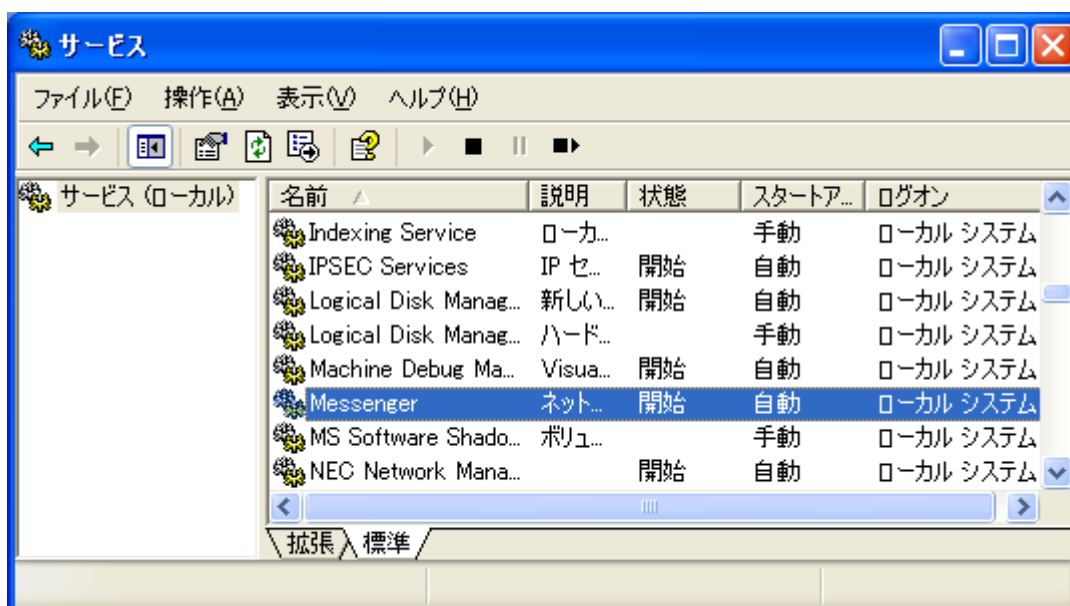


#### ◆メッセージの送受信の設定

Microsoft Windows XP/2003 の場合


コントロールパネルの「サービス」より「Messenger」サービスを開始してください。

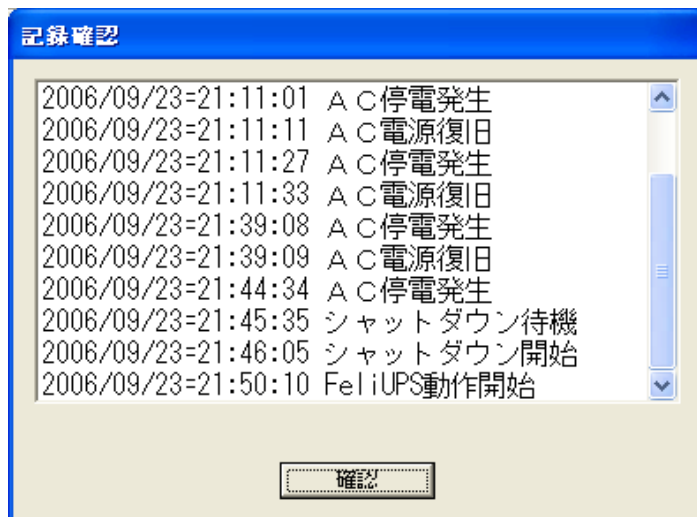
※「Windows Vista」以降の OS では機能しません



## 3-6. 「記録」メニュー


### 3-6-1. 「記録確認」メニュー

「記録」メニューの「記録確認」メニューを選択するか、メイン画面上の  アイコンをクリックすることで、FeliSafe/Lite がイベントを記録した内容を表示します。




## 3-7. 「ヘルプ」メニュー

### 3-7-1. 「FeliSafe/Lite ヘルプ」メニュー

「ヘルプ」メニューの「FeliSafe/Lite ヘルプ」メニューを選択するか、メイン画面上の  アイコンをクリックすることで、FeliSafe/Lite のヘルプを表示します。

### 3-7-2. 「FeliSafe/Lite について」メニュー

「ヘルプ」メニューの「FeliSafe/Lite について」メニューを選択するか、メイン画面上の  アイコンをクリックすることで、FeliSafe/Lite のバージョンを表示します。

